

福岡市議会史 第4巻 昭和編（二） [目次]

はじめに	—	1	第十一章 都市計画事業と道路・下水道整備	793
第一章 戦災復旧から復興へ		9	第一節 戦災復興と都市計画	793
序 大空襲から終戦まで		9	第二節 道路の補修と改良	810
第一節 終戦直後の「衣食住」		12	第三節 橋梁の架設と改良	817
第二節 住宅不足と建設促進		24	第四節 区画整理による宅地開発	822
第三節 電力不足と飲用水確保		30	第五節 福岡刑務所の移転	836
第四節 戦災学校の復旧・再建		42	第六節 下水道の整備拡充	846
第五節 戦災復興事業と区画整理		47	第七節 都市計画公園の整備	877
第六節 復員、引き揚げ支援		54	第八節 都市計画用途地域の指定	890
第二章 民主化のうねり日戦後の地方制度改革		63	第十二章 住宅建設と供給促進	893
第一節 「戦時色」の一掃—公職追放令		65	第一節 国庫補助市営住宅	894
第二節 市長候補者公選—福岡の「実験」		71	第二節 宅地開発と区画整理事業	907
第三節 新地方自治制度の創設		87	第三節 住宅建設三カ年計画	911
第四節 市会の制度改革と議員の身分		90	第四節 団地建設と分譲住宅	918
第五節 議案審査体制の強化		97	第十三章 教育制度と施設整備	927
第三章 市域の拡大—町村の合併編入		107	第一節 概説—制度改革への対応期	927
第一節 合併への胎動		108	第二節 六・三・三制の実施—学制改革	937
第二節 合併特別委員会の自然消滅		109	第三節 二部授業—教室不足対策	958
第三節 日佐村、田隈村との合併 —「第一次合併」へ		119	第四節 学校施設の内容充実	972
第四節 多々良町、香椎町、那珂町との合併 —「五十万都市」が実現		138	第五節 学校給食の実施と変遷	986
第五節 第二次町村合併へ		163	第六節 公民館設置と社会教育	999
第六節 和白町、金武村、糸島三村との合併 —「七十万都市」へ		171	第十四章 民生福祉と医療衛生	1015
第四章 警察制度と消防組織		197	第一節 生活保護事業と民生委員制度	1015
第一節 自治体警察の発足		198	第二節 国民健康保険事業の導入	1032
第二節 警察制度の再改編		210	第三節 保健所の設置と活動	1070
第三節 自治体消防の発足と拡充		219	第四節 市立病院経営の変遷	1087
第四節 地域消防団の役割と活動		231	第五節 清掃業務とごみ焼却施設	1115
第五章 市税財政の推移		239	第六節 し尿収集と処理の変遷	1152
第一節 終戦直後の税制と財政運営		242	第十五章 産業の復興と発展	1169
第二節 シャウブ勧告と地方税改革		264	第一節 農業の復興と改革	1169
第三節 緊縮予算と税財政論議		283	第二節 水産業と中央卸売市場	1185
第四節 財政窮乏と競輪・競艇事業		308	第三節 商業再興と金融整備	1194
第五節 赤字財政と自主再建		328	第四節 製造業と伝統産業	1216
第六節 景気拡大と積極予算		354	第十六章 交通通信と電気ガス	1231
第六章 市議会の変革と変遷		369	第一節 西鉄市内電車と市営渡船	1231
第一節 国民主権下の地方議会に		369	第二節 電話施設の復旧と拡充	1248
第二節 市議選と議員定数の変遷		374	第三節 電力需給と電気事業再編	1263
第三節 議会運営と議案審査体制		402	第四節 ガス供給事業の復興	1275
第四節 特別委員会の設置と活動 その一		455	第十七章 町世話人制度と市政	1283
第五節 特別委員会の設置と活動 その二		466	第一節 町内会・隣組の廃止	1283
第六節 議員報酬制度の確立と変遷		473	第二節 町世話人制度の誕生	1291
第七節 市議会の党派構成とその変遷		483	第三節 市の広報・広聴体制	1301
第八節 議会事務局の設置とその変遷		491	第十八章 市立動物園の開園	1305
第七章 博多港の整備と拡張		505	第一節 動物園再設置へ調査開始—昭和二十四年十月	1305
第一節 終戦直後の博多港		505	第二節 南公園に動物園が開園—昭和二十八年八月	1311
第二節 貿易港へ体制づくり		515	第三節 動物園の整備拡充	1324
第三節 港湾施設の整備と拡充		526	第四節 動物園の管理運営	1329
第四節 漁港整備と中央卸売市場		547	第十九章 スポーツと市民	1331
第五節 東浜埋立てと臨海工場地帯		562	第一節 第三回国民体育大会の開催	1331
第六節 港湾整備五カ年計画の策定		573	第二節 平和台野球場とライオンズ	1342
第八章 博多駅の移転改良		591	第三節 スポーツセンターと大相撲	1363
第一節 駅の移転改良計画		591	第二十章 文化財保護と文化の振興	1373
第二節 駅移転位置の決定		599	第一節 「どんたく」と「山笠」の再興	1373
第三節 博多駅区画整理事業		611	第二節 文化財の保護と修復	1381
第四節 駅の移転工事に着手		626	第三節 市民会館の建設計画	1388
第九章 板付基地から福岡空港へ		643	第二十一章 国際都市へ一歩	1403
第一節 「米軍板付飛行場」時代		643	第一節 航路開拓と海外見本市	1403
第二節 米軍基地と民航が併存		665	第二節 外国公館と国際交流	1413
第三節 航空路の誘致と拡大		670	第二十二章 余録	1425
第四節 国際空港へ体制づくり		674	資料 一. 市制(昭和二十一年法律第二十八号)	1459
第十章 上水道の整備と拡張		679	二. 地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)	1499
第一節 「概説」—慢性的水不足との闘い		679	三. 名簿	1555
第二節 水源拡張事業—南畑ダム取水へ		698	1 歴代議長および副議長	1555
第三節 浄水場と配水施設		745	2 市議会議員	1556
第四節 水道事業の経営		756	3 名誉職参事会員	1570
第五節 水道料金改定の推移		766	四. 福岡市議会年表	1575
第六節 四エチル鉛汚染事件		781		